

1. 評価報告概要表

作成日 平成20年5月24日

【評価実施概要】

事業所番号	1171700303
法人名	株式会社ウェルフェアクリエーション
事業所名	ソレアド鴻巣
所在地	〒365-0027 埼玉県鴻巣市上谷141-1 (電話) 048-544-3010
評価機関名	社会福祉法人 埼玉県社会福祉協議会 福祉サービス評価センター
所在地	〒330-8529 埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4-2-65 彩の国すこやかプラザ
訪問調査日	平成20年5月16日

【情報提供票より】(平成20年5月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成16年5月1日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	23 人	常勤 9人, 非常勤 14人, 常勤換算 18.9人	

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート造り		
	2 階建ての	1 階 ~	2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	59,500 円	その他の経費(月額)	15,750円+実費	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (157,500円)	有りの場合 償却の有無	有	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり1,575円			

(4) 利用者の概要(5月1日現在)

利用者人数	27 名	男性	10 名	女性	17 名
要介護1	5 名	要介護2	7 名		
要介護3	6 名	要介護4	6 名		
要介護5	3 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 78.66 歳	最低	57 歳	最高	94 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	わたまクリニック、このす共生病院、本町歯科診療所
---------	--------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームは、田畑や緑の多い自然環境に恵まれ、同建物内にデイサービスを併設する3ユニットのグループホームである。庭には花壇や菜園があり、食材にも使われている。週1回カンファレンスを行い、一人ひとりを大切にしたい介護計画に基づいたサービスを提供し、家族の希望により終末介護や対応困難な利用者にも、他の利用者へ配慮しながら、施設長と職員が一体となり支援している。全職員が、ホームは家庭の延長との考えを共有しており、地域と積極的に交流し、家族同様に温かく接している。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の評価結果を職員全員で検討して、介護計画書に総合方針を明確に記入する等、改善に取り組んでいる。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>全体会で施設長が評価の意義を説明したり、評価についてのビデオを見て理解に努めており、職員から聞いた意見をフロアリーダーがまとめている。自己評価票を確認することで、日常の業務を見直したり、深く掘り下げる機会となっている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>年4回開催している。メンバーは、家族や利用者、地域包括支援センター職員の他、消防署職員や地域住民にも案内を配り出席できる人には参加してもらい、ホームの実情や自己評価票の説明をすることにより、ケアのあり方の理解を深めることができている。また、参加者から出た意見や提案を活かし、地域密着の取り組みを行っている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>面会時には話しやすい雰囲気作りに努め、行事の後に家族会を開いて意見や要望を聞き職員間で話し合っている。感謝されることが多いが、残存機能の活用について意見が出されたことがあり、説明して納得してもらっている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>散歩等で外に出た時は挨拶をすることを基本にしている。隣近所から野菜をいただいたり、野菜の作り方を教わる等、親しい関係作りができている。お祭りや地域の行事に参加したり、ホームで蕎麦打ち会を開催したり、行事には地域の人達を招いて来てもらっている。また、ボランティアを受け入れたり、幼稚園等とも盛んに交流し、地域の一員として定着している。</p>

2. 評価報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人の理念を基に、ホームの全体会で意見を聞き、地域から愛されるホーム作りを具体化した、独自の理念を作りあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を玄関に掲示したり、毎朝の朝礼で唱和して確認し合い、日々熱心に取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入し、地域のお祭り等の行事に参加したり、ホームの行事にも地域の人達を招待している。幼稚園との交流、ピアノやシャンソン、腹話術等のボランティアを受け入れたり、PTAの資源ゴミの回収に協力している。外出時には挨拶を基本に積極的に交流し、近隣から野菜をいただくなど、地域の中のホームとして定着している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の改善点について職員全員で話し合い、介護計画書に総合方針を明確に記入する等の取り組みを行っている。今回も、施設長が評価の意義について説明したりビデオを見て理解に努め、職員の意見を聞き、フロアリーダーがまとめている。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	年4回開催している。メンバーは、地域包括支援センターの職員、自治会長、利用者や家族の他、消防署や近隣の住民にも開催日の案内を配り希望者が参加している。会議では、ホームの実状や評価の内容を説明して理解を深めたり、蕎麦打ち会の提案を実現したことで地域と密着できる機会となっている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	利用者の中で、生活保護受給者も多く、対応困難な人も受け入れているので、頻りに市へ出向き、常に相談しながらサービスに取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	利用料は月1回請求書を送付し、預かり金の使用状況により、領収書や出納帳を面会時に渡したり送付している。送付時には、担当職員が利用者の日常の様子や写真を同封して報告し、変化のあった時には随時電話で報告したり相談をしている。職員の異動に関しては、ホーム便りへの掲載を検討中である。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	何でも話しやすい雰囲気作りに努め、面会時や行事の後の家族会で意見や要望を出してもらい、職員間で話し合っている。重度の利用者の残存機能の活用に家族から意見が出されたことがあり、説明して納得を得た例がある。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動はなく、施設長は、離職が少なくなるように相談しやすい関係作りに努め、やむなく離職などがあつた場合には、馴染みの職員による総合的な支援に取り組んでいる。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	月1回の会社本部の研修に交替で参加している。内容も初任者研修から、認知症に関すること等、きめ細かい内容になっている。外部の研修案内も事務所に提示し、市で開催する研修にも自主参加ではあるが全員が参加している。また、研修内容については全体会で発表して学び合っている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域密着連絡会に加入し交流を図っている。当ホームより、相互訪問についての提案をし、実現に向けて検討しているところである。他のホームにも見学に行き、サービスの質の向上に取り組んでいる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>同じ建物内にあるデイサービスを利用してもらったり、見学や体験入居も積極的に受け入れ、ホームの雰囲気慣れてから、納得して入居ができるよう取り組んでいる。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>家庭の延長という視点で、職員は生活の全てを利用者と共に過ごし、家事や趣味活動等を一緒に行い、戦争の辛い体験や喜びも受容して共感している。昔のしきたりや、付き合いの仕方等も教えてもらったりと支えあっている。</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>コミュニケーションをとりながら、利用者の思いや希望の把握に努めている。意思表示の困難な人も、表情や仕草から気付いたことを職員間で話し合っている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>週1回カンファレンスを開催している。開催日に面会に来た家族や、困難な課題のある場合には家族を呼んで参加してもらい、看護師も交えて意見を聞き検討して介護計画を作成している。作成した介護計画は、面会時に見てもらったり、送付して説明している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>週1回のカンファレンスで常に全体を検討している。変化のあった時にも随時見直しを行い、変化のない場合にも6か月に1度は見直して新たに介護計画を作成している。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者や家族の希望により、通院の支援を行っている。また、個別に買い物に行くなどの支援も行っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	内科、歯科とも2週間に1度の往診を受けている。家族の希望する医療機関への受診も支援しており、いつでも連絡のとれる病院と看護師も確保され、緊急時や夜間の入院への対応ができる体制ができている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合は、家族や医師と相談して方針をたて全員で共有している。治る見込みがなく、家族が濃厚な医療行為を望まず、ホームでの看取りを希望した場合の終末介護を受け入れている。今までに4名の終末介護を実施している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	全体会で話し合い、利用者の尊厳を尊重した言動に心掛けている。施設長は職員にプライバシー保護に関するレポートを提出してもらい自覚を促している。書類等は事務所に保管し、鍵もかけられている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	大まかな日課はあるが、利用者の体調や希望、ペースに合わせて、毎日がその人らしく過ごせるように支援している。誘い方に工夫しながら、起床、食事、入浴、就寝等も自由にしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と話し合いながら、毎日の献立作りから、利用者の希望や能力に合わせて食事の準備や後片付けを職員と一緒にいき、食事と共に楽しんでいる。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日、暖かい午後の時間帯で、利用者一人が週2～3回は入浴できるようにし、入浴拒否のある人へはタイミングを見ながら、時間外でも支援している。季節のゆず湯等の楽しめる工夫がされている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の希望を聞きながら、散歩や日光浴、デイサービス利用者との交流を行ったり、毎日の生活の中で、得意とするピアノや書道を楽しんだり、人により食器洗いや洗濯、洗濯物たたみやゴミだし等の役割をもって張り合いのある生活を支援している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	お天気の良い日は毎日散歩に出かけたり、希望により買い物やドライブに出かけている。その他、地域の行事や季節ごとのお花見、年1回の日帰り旅行、サーカスを見に行く等、外出の機会を多くする支援をしている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は施錠せず、階段やエレベーターも自由に開放し、様子を観察して見守っている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回、消防署による避難訓練を実施しており、避難経路や避難場所も職員間で周知している。7月には、地域防災訓練に参加する予定があり、消防署より、地域住民へホームの実状と車椅子使用者の人数等、細かい報告をもらい協力を得る計画がある。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	バイタルチェック表に食事、水分の摂取量を記録して把握している。栄養バランスについては、会社の栄養士が年1回チェックし、糖尿病の人は医師の指示を得ている。嚥下能力の低下している人には、粥やおじやにする工夫もされている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用のリビングには、ソファコーナーがあり、フリースペースのホールも設けられ、利用者が一人で読書や趣味ができる場所となっている。台所もしきりがなく、自由に使いやすい。玄関から共用空間等、至る所に季節の花が豊富に活けられ、利用者の作品も調和よく飾られて、楽しく居心地良く過ごせる工夫がされている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	全ての居室から外が眺められ、明るい居室となっている。廊下側の扉のガラス部分は、希望により夜間廊下の光が入らないように紙や布で塞げる工夫をしている。ベッド、じゅうたん、タンス、椅子やテーブル等好みの調度品を自由に持ち込み、落ち着いて過ごせる飾りつけの工夫もされている。		